No.10 回覧

三世代でつながり、笑顔が広がる広報誌

ぼらんていあだより

No.457
2026.11



写真でひとこと 7月号(No.455) 優秀賞

優秀賞の他、秀逸賞を
Instagramで発表中！
是非ご覧ください！！











特集

社協の ふくしの担い手づくり 事業とは？

新事業・リニューアル事業を一部ご紹介します！



ぼらんて君

CONTENTS

［特集］
社協の
「ふくしの担い手づくり」
事業とは？
- 登録ボランティア紹介
- コーディネート事例
- ボランティア募集情報
- ボランティアの輪
- 応募コーナー「写真でひとこと」
- お便りコーナー
- ボラセンからのお知らせ
- 諏訪ちゃんからの言葉

豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター

本誌の発行には
共同募金配分金が使われています

社協の ふくしの担い手づくり事業とは?

新事業・リニューアル事業を一部ご紹介します!



\NEW/

新事業 ふくしのしゃべり場

「ふくしって、実はけっこう面白い！」そんな気づきや新しいつながりを生み出すのが「ふくしのしゃべり場」です。

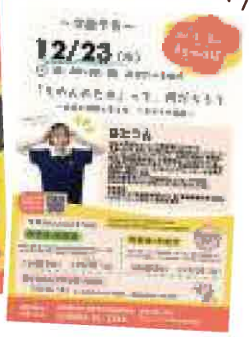
地域で活動する人と福祉の専門職が、普段の関わりや立場を越えて交流し、福祉の楽しさや魅力について語り合います。同世代×異業種、同業種×多世代など、さまざまな組み合わせで意見交換や学びの機会をつくり、福祉に触れるきっかけや活動へのモチベーションアップにつなげます。

令和8年度は年間5回のオンラインでの開催を予定しています。

\前回イベント/



\直近イベント/



12月イベント お申込みフォーム

イベント詳細は豊田市社協WEBサイトでご確認ください

\RENEWAL/

リニューアル事業 つながるフェスタ

WEBサイト

福祉の仕事も地域での活動も、まずは「知って」「楽しんで」もらいたい。そんな思いから開催する「つながるフェスタ」。

これまでの「介護の仕事相談会inとよた」から対象を高校生・大学生などの若い世代へ広げ、内容もリニューアルします。介護・障がい事業所による「福祉の仕事」の紹介に加え、地域で活躍する人たちの「地域活動」のブースも登場。

就職相談だけでなく、福祉の仕事や地域活動の魅力に触れ、「面白そう」「やってみたい」と思えるきっかけを届けます。

【イベント詳細】 入場無料

開催日程 12月13日(日) 午前10時～午後17時

場所 豊田市福祉センター

地域活動、高齢者（障がい）現場の魅力・楽しさをPR。マルシェや物販、芸能人のトークショーなどを開催します!

あなたも、もう「ふくしの担い手」かも



「ふくしの担い手」は、専門職として働く人だけではありません。知ること、誰かと話すこと、体験すること、地域の活動に参加することも、その一歩です。4つの事業は、それぞれ違う入口から人と福祉、人と地域をつなぎ、「やってみたい」という気持ちを実際の活動や仕事へ結びつけていきます。

\RENEWAL/

リニューアル事業

豊田市介護の職場体験事業

WEBサイト

「介護の仕事って、実際にはどんなことをしているの？」そんな疑問を現場で確かめられる「豊田市介護の職場体験事業」。

これまでの「豊田市訪問介護職場体験事業」から対象を広げ、今年度は介護に加えて、障がい福祉の現場も体験・見学できるようになりました。

介護の入所・通所・訪問、障がい福祉の入所・通所・訪問の中から、興味のある分野を選択できます。実際に事業所を訪れ、仕事の様子や現場の雰囲気に触れることで、福祉への理解を深め、「関わってみたい」「働いてみたい」という次の一歩につなげます。

詳細、お申し込みはボラセンまで！

開催日程　令和8年6月～令和9年2月まで

場所　市内の各事業所

介護・障がい事業所で仕事体験（見学）を行い、福祉への理解を深め次の一歩につなげます。



\RENEWAL/

リニューアル事業

ボランティアきっかけ講座

「ボランティアに興味はあるけれど、何から始めればいいの？」そんな人の最初の一歩を応援する「ボランティアきっかけ講座」。これまで別々に開催していた「ボランティア講座」と「ボランティア講演会」をひとつに統合し、リニューアルしました。1日目は講演会の内容で、座学を通して一歩を踏み出すきっかけをつくり、2日目は体験、3日目は振り返りによって、関心を深める内容に。

「知る」から「体験する」、そして「やってみる」までがつながることで、ボランティアへの関心を実際の活動につなげます。







YouTube

きっかけ講座（7/25開催）の模様がご覧いただけます

登録ボランティアグループ紹介



登録グループ名

三州足助ボランティアガイドの会

活動内容

足助の魅力を伝える観光ガイド活動

足助の町並みや香嵐渓の魅力を伝えるガイド活動を行っています。

中高生から大人まで、幅広い年代に合わせ、分かりやすい言葉で説明することを心掛けています。観光の皆さんに五平餅や紅葉を描いたマンホールなど、地域ならではの見どころも紹介し、足助・香嵐渓への理解を深めてもらっています。

発足のきっかけ　中馬のおひなさん

この地方のイベントである「中馬のおひなさん」のお手伝いとして、観光客のご案内を始めたことをきっかけに平成11年に発足しました。香嵐渓・古い町並み、足助の歴史など、ガイドブックだけでは得られないエピソードなどを交えながら、個性豊かなメンバーたちがガイドします。

みなさんに楽しんでいただけるように、みんなでワイワイと楽しく活動しています！





メッセージ　ガイドの申し込み受付中

ぜひ一緒にボランティアガイドをしてくれる方を大募集しています。私たちと一緒に楽しく活動しましょう。

また、ガイドの申し込みをご希望の方は、豊田市足助観光協会へご予約をお願いします。

（※毎年7・8・9月はガイド休止）

詳細・申し込み ▶ 豊田市足助観光協会

このグループに
興味のある方、依頼したい方
また取材を希望のグループは
ぜひ社協までお問い合わせください

ボランティアセンターでの
コーディネート事例

打ち敷づくりから始まった地域の新しいつながり

きっかけ PROLOGUE

下山地域にある髙福寺に仏像が寄進され、その下に敷く「打ち敷」を作ることになりました。役員会で余っている着物を活用する案が出ましたが、作れる人が見つからず、社協下山支所へ相談。

ボランティアグループ「よつば会」につなぎましたが、打ち敷を作った経験のある人はいませんでした。

そこで、髙福寺の坊守さん※の母親が以前打ち敷を作った経験があると聞き、地域とのつながりをつくる機会にもなればと参加をお願いしました。

※坊守さん：住職の妻



よつば会の皆さんと中央緑布が手作りの打ち敷

【お寺の困りごと】



イラスト：Ai Unemoto





それから… AFTER THAT

母親は打ち敷づくりの指導役として「よつば会」に参加し、メンバーと交流する中で、地域でのボランティア活動を始めました。完成した打ち敷は９月の法要でお披露目され、檀家の皆さんには打ち敷だけでなく、活動を担った「よつば会」も紹介されました。

今回の活動をきっかけに、家庭用の打ち敷づくりを希望する人にも作り方を伝えていくなど、地域に残る文化を次の世代へつなぐ活動へと広がっています。



取材メモ MEMO

家で使わなくなった着物の帯を活用し、打ち敷としてお寺に飾る取り組み、制作には苦労もあったそうですが、無事完成し、お披露目できた喜びを語っておられました。

着物や帯を無駄にせず、新たな形で生かす活動の良さを感じました。

ボランティア募集情報

社協DE集めています！

「集める」ことは、気軽にできるボランティア活動♪



- ☑毛糸（未使用）
- ☑タオル（未使用）
- ☑端切れ布

豊田市福祉センター2階窓口、社協支所・出張所の各窓口で回収しています。





利用方法 地域や施設での作品づくりに使用し、地域貢献に活用しています



カメラマンボランティア募集！

素敵な写真を撮ってくれるボランティアさんを大募集しています

市内各地で活動中のボランティアさん方の「笑顔」をテーマに記録写真の撮影に協力していただきます。
写真は、ぼらんていあだより、ボラセンInstagram、ボラセンYoutube等に掲載・利用させていただきます。

\ぼくも!!/ \わたしも!!/ ボランティアの輪WA

杜若高等学校 生徒会

私たちは、校内行事の運営に加え、平戸橋桜まつりや猿投台ふれあいまつりなど、地域で開催されるイベントの運営を支援するボランティア活動に取り組んでいます。

また、毎年夏と冬の2回、地域の子どもたちを招いた子ども食堂を開催しています。子ども食堂では、工作や実験などのワークショップと食事を組み合わせ、子どもたちが楽しく過ごせる場をつくっています。





この夏は映画『崖の上のポニョ』をテーマに、ポンポン船づくりやポニョにちなんだ料理を楽しみました。準備や当日のトラブル対応など苦労もありますが、子どもたちの笑顔が大きなやりがいにつながっています。

食材の提供など地域の皆さんにも協力いただきながら、学校と地域をつなぐ活動を通じて、今後も地域全体を盛り上げられる生徒会を目指していきます。

応募コーナー

写真でひとこと

右の写真を見て思いついた、「ひとこと」を投稿する大喜利コーナーです。たくさんのご応募をお待ちしています！

楽しい！おもしろい！と思える回答の中から一部を次号以降、本誌で掲載します。



優秀回答の中から若干名の方に500円分の図書カードをプレゼントします。

応募方法は、裏表紙記載のボランティアセンター住所宛にハガキを投函する方法と、応募フォームから入力する方法があります。

応募フォーム

2027年1月20日(水)締切

【当選は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます】

お便りコーナー

応募の中でいただいたご感想を紹介します。たくさんのご応募お待ちしています！

刺激になります

知らないところで活動している方がいると刺激になります。私も出来ることからコツコツと取り組んでいきたいです。

実は身近なところでたくさんのボランティアを見つけることができます！まずは地域のボランティア活動から探してみるのも楽しみのひとつですね！

楽しく拝見しています

いつも楽しく拝見しています。社協の皆さん頑張ってください。

ありがとうございます！地域の皆様の声が１番職員の励みになっています！

楽しい・面白い・ためになる、そんなぼらんてぃあだよりをこれからも皆様へ届けていきます！

写真でひとこと

「写真でひとこと」が毎回面白いです。

ありがとうございます！ぼらんて君も喜んでいます！これからもぼらんて君の斬新なポーズに素敵な「ひとこと」を付けてあげてくださいね！



ボラセンからのお知らせ

ボランティア活動先を探しています！

対象　豊田市内“一部地域”

- ☑ 万華鏡づくり（5~10人まで）
- ☑ うどん打ちアドバイザー
- ☑ ウクレレorハーモニカ演奏

対象　豊田市内“全域”

- ☑ 楽器演奏　主に吹奏楽器で、馴染みの曲の演奏やクイズ、歌
- ☑ 笑いヨガ



※これらの情報は令和8年度版「登録ボランティアグループ一覧」「特技登録ボランティア一覧」発行後にボランティア登録された令和8年8月末現在の情報です

諏訪ちゃんの言の葉（こと）は

ボランティア活動など“あなたの一歩”のきっかけになりますように！



諏訪 徹（すわ とおる）さん

地域で活動しているあなたへ

まずは、自分が楽しむこと。それが地域を元気にする。

趣味を楽しんだり、地域で出会った人に声かけをしたり、野菜を育てて分けてあげたり、地域の自然なつながりを楽しむことで、自分自身が元気になります。まずは自分が楽しみ、その楽しさを地域に広げていく“勇気”を出してください。

ところで諏訪ちゃんって？

「地域福祉」を中心に研究、毎年開講の社協主催「とよた市民福祉大学」では講演会講師を務めています。日本大学文理学部社会福祉学科教授、日本福祉教育・ボランティア学習会会長。

ぼらんていあだよりに関するお問い合わせ　発行No.457｜2026年11月号（隔月発行）

豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒471-0877 豊田市錦町1丁目1-1（豊田市福祉センター2階）
TEL. 0565-31-1294 / FAX. 0565-33-2346
MAIL. vc@toyota-shakyo.jp

WEBサイト
https://vc.toyota-shakyo.jp



SNS　Instagram▸ ◂Youtube